

おうみこなん  
近江湖南アルプス自然休養林について

滋賀森林管理署は、滋賀県内の国有林約1万8千ヘクタールの管理経営を通じて、森林が有する公益的機能の発揮に努めています。

とりわけ、花崗岩の岩塊群がアルプスのような独特な景観を作りだし、「湖南アルプス」と呼ばれて親しまれている田上山の、一丈野国有林(大津市)と金勝山国有林(栗東市)は、寺院跡や石仏などの史跡にも恵まれていることから、昭和48年に、「近江湖南アルプス自然休養林(一丈野地区)」に設定し、多くの方々にハイキング等のレクリエーションの場として利用いただいています。



自然休養林内で水に親しむ子供たち

たなかみやま  
田上山のハイキング

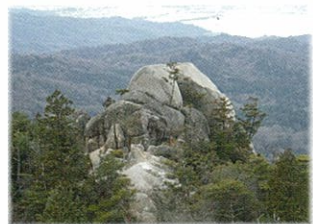
田上山は、滋賀県の県南部に位置する田上山系・金勝山系の山々の総称で、主峰といわれる田上山系の太神山の標高が599.7m、最高峰である金勝山系の竜王山が604.7mと、標高が低く、都市部からも近いので、四季を通して気軽に登山ができる山として親しまれています。

しかし、田上山独特の地質・地形・植生などから、以下の事項に特に注意して、登山を楽しんでください。

1. 浸食の著しい花崗岩を主体とする山で、足場が悪く、滑落や落石の危険がありますので注意してください。
2. 谷が多く、尾根も複雑であるため、方角が分かりにくい山です。また、人里に近く、長年治山工事が行われてきたことから、登山道以外の様々な踏み跡があるため、道に迷いやすい山ですので注意してください。
3. イノシシや鹿などの獣が生息しています。また、川の流路が短いため、生水の飲用はできませんので注意してください。
4. 携帯電話通話可能な箇所に、コールポイントを設置しています。万一の場合、記載された番号を消防へ連絡すると現在地が確認できます。なお、携帯電話の機種によっては通話ができない場合がありますので注意してください。
5. 秋の田上山は松茸の採取時期となり、一般登山者の入山が規制され、登山道以外には立ち入れませんので注意してください。なお、松茸等の採取は禁止されています。



落ヶ滝



国見岩

バイオマストイレについて(駐車場内)

一丈野駐車場のトイレは、バイオマス(スギの間伐材を利用したチップ)を活用して「し尿」を微生物の働きで分解し自然蒸発させています。無臭・無排水で、水洗面はリサイクルされる、自己完結型の水洗エコトイレです。



バイオマストイレ

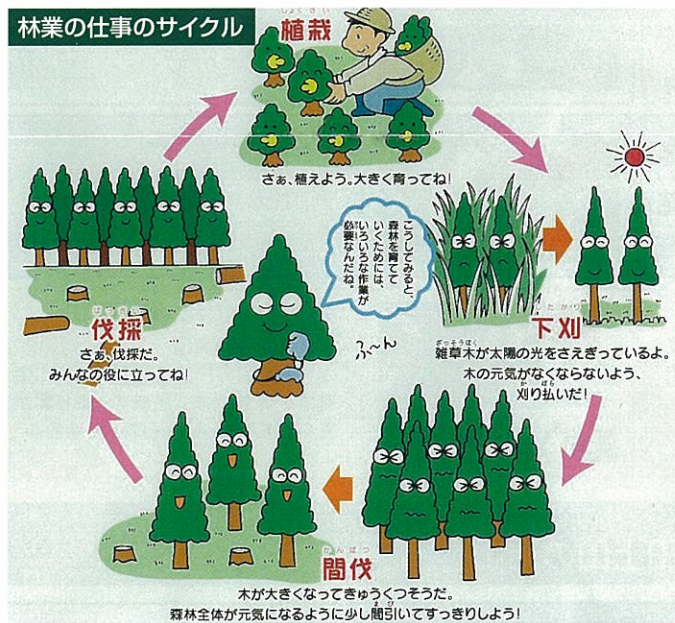
トイレのマナーを守り、美化にご協力下さい。

森林のはたらき

森林は山くずれなどの災害からみんなの生活を守ったり、水をたくわえてきれいにするなどのはたらきがあります。このようなはたらきを森林のもつ公益的機能といいます。



この他にも、生きものすみかになったり、強い風を防いだり、空気をきれいにするなどたくさんのはたらきをもっています。このような公益的機能と木材やきのこなどをつくるはたらきをあわせて、森林のもつ多面的機能といいます。林業は、森林を育て、木材などを生産する産業ですが、森林のもつ多面的機能が発揮されることと深い関係があります。



木を植えることで地面に根が張り、雨が降っても山がくずれにくくなります。間伐をすれば残った木が大きくなりやすくなり、日が差し込むことによって下草などが育ち土が流れにくくなります。木を植えて、育て、伐採し、また植える。この仕事の繰り返しが大切なのです。

引用資料:農林水産省ジュニア農林水産白書

気をつけよう!フィールドマナーと危険な生きもの

- 草花や木をおったり、持ち帰ったりしてはいけません。
- ゴミはかならず持ち帰りましょう。
- 毒ヘビやハチに気をつけましょう。



ようこそ!  
緑の田上山へ

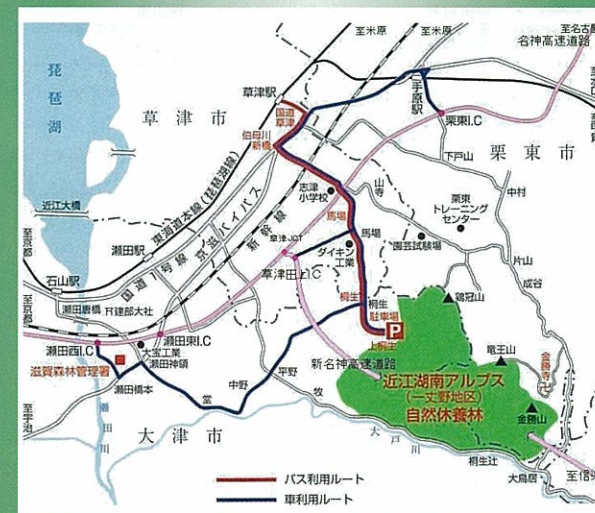
近江湖南アルプス  
自然休養林ガイド



鶏冠山と天狗岩

近畿中国森林管理局  
滋賀森林管理署

交通のご案内



お問い合わせ先

〒520-2134 滋賀県大津市瀬田3丁目40-18

林野庁 滋賀森林管理署

TEL 077-544-3871

FAX 077-544-3867

E-mail kc\_shiga@rinya.maff.go.jp

いちじょうや・こんげやま  
一丈野・金勝山の植物(木本・葉と実編)

針葉樹(葉が針の様)

ヒノキ(ヒノキ科)



日本の固有種で高さ30mになる常緑高木。材は日本の針葉樹の中で最も価値が高く建築材として重要。樹皮は社寺等の屋根を葺く材料として使用される。

スギ(スギ科)



日本の固有種で高さ50mにもなる常緑高木。建築材として重要な樹種で、各地に植林されている。葉は長さ1cm程度の針状。建築材の他にも桶や樽、線香の原料にも使用される。

アカマツ(マツ科)



高さ20m、直径1m以上になる常緑高木。樹皮が赤褐色で葉は2葉性、球果は4~5cmの卵形で翌年の秋熟す。材は建築、造船等に幅広く用いられる。

ヒメコマツ(マツ科)



高さ20m、直径60cm程になる常緑高木。樹皮が赤褐色~暗灰色で、葉は5葉性、球果は5~7cmの卵形で翌年の秋熟す。材は均質で狂いが少なく、建具や欄間などに用いられる。

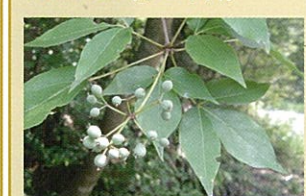
広葉樹(葉が広い)

ヒメヤシャブシ(カバノキ科)



北海道から四国の日本海側に分布する落葉小高木。根に根粒菌が共生しており、空気中の窒素を養分として取り込むことができるため、痩せ地でもよく育ち治山用の緑化木として植栽された。(別名:ハゲシバリ)

タカノツメ(ウコギ科)



日本の固有種で、全国各地の山地に分布する。高さは4~15m程になる落葉小高木~高木。葉は3出複葉で秋の黄葉が美しい。雌雄別株で、初夏、枝先に黄緑色の小花を多数付ける。

一丈野・金勝山のいきもの



ハルゼミ

体長3~4cmの小型のセミで、松林を好むため、生息域が限られています。一丈野国有林では、5月~6月中旬までの日中、「ムーゼ、ムーゼ」という鳴き声を松林の中で聞くことができます。

ニホンリス

木の枝の上でくらし、サッカーボール大の小枝の巣を作ります。かたい物をかじるのが大好きで、写真のエピフライのような物を作ります。これは何かわかりますか? 答え:中の種子を食べるために、ニホンリスがかじった松ぼっくりの食痕です。



